

< 掲載私立大学 >

慶應義塾大学・・・340	兵庫医科大学・・・412
関西大学・・・342	金沢医科大学・・・414
早稲田大学・・・344	麻布大学・・・416
東京理科大学・・・346	愛知工業大学・・・418
日本大学・・・348	岩手医科大学・・・420
近畿大学・・・350	産業医科大学・・・422
同志社大学・・・352	聖マリアンナ医科大学・・・424
北里大学・・・354	川崎医科大学・・・426
立命館大学・・・356	帝京大学・・・428
中央大学・・・358	光産業創成大学院大学・・・430
沖縄科学技術大学院大学・・・360	甲南大学・・・432
金沢工業大学・・・362	大阪工業大学・・・434
名城大学・・・364	長浜バイオ大学・・・436
東海大学・・・366	東京医科大学・・・438
中部大学・・・368	法政大学・・・440
芝浦工業大学・・・370	立教大学・・・442
順天堂大学・・・372	藤田保健衛生大学・・・444
神奈川大学・・・374	明治薬科大学・・・446
上智大学・・・376	崇城大学・・・448
久留米大学・・・378	大阪医科大学・・・450
東京女子医科大学・・・380	北海道医療大学・・・452
福岡大学・・・382	明星大学・・・454
明治大学・・・384	玉川大学・・・456
東京電機大学・・・386	熊本保健科学大学・・・458
豊田工業大学・・・388	摂南大学・・・460
岡山理科大学・・・390	創価大学・・・462
関西学院大学・・・392	大阪産業大学・・・464
関東学院大学・・・394	東京薬科大学・・・466
東京農業大学・・・396	東邦大学・・・468
千葉工業大学・・・398	東北学院大学・・・470
東洋大学・・・400	武庫川女子大学・・・472
工学院大学・・・402	関西医科大学・・・474
自治医科大学・・・404	大同大学・・・476
神奈川工科大学・・・406	東京工芸大学・・・478
龍谷大学・・・408	いわき明星大学・・・480
埼玉医科大学・・・410	京都産業大学・・・482

桐蔭横浜大学・・・484	広島国際大学・・・530
実践女子大学・・・486	国際医療福祉大学・・・532
新潟薬科大学・・・488	国士舘大学・・・534
成蹊大学・・・490	昭和薬科大学・・・536
中京大学・・・492	松本歯科大学・・・538
八戸工業大学・・・494	星薬科大学・・・540
獨協医科大学・・・496	長崎国際大学・・・542
杏林大学・・・498	東京都市大学・・・544
学習院大学・・・500	日本獣医生命科学大学・・・546
九州産業大学・・・502	福井工業大学・・・548
広島工業大学・・・504	文教大学・・・550
埼玉工業大学・・・506	愛知学院大学・・・552
昭和大学・・・508	安田女子大学・・・554
神戸学院大学・・・510	湘南工科大学・・・556
第一工業大学・・・512	神奈川歯科大学・・・558
中村学園大学・・・514	青山学院大学・・・560
東京慈恵会医科大学・・・516	千葉科学大学・・・562
日本医科大学・・・518	大妻女子大学・・・564
日本歯科大学・・・520	長崎総合科学大学・・・566
福岡工業大学・・・522	東北工業大学・・・568
酪農学園大学・・・524	日本福祉大学・・・570
ものづくり大学・・・526	日本文理大学・・・572
横浜薬科大学・・・528	

私立 慶應義塾大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	10名以上20名未満
研究者数	2,500 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	539	507	10位 / 国公立	
	受入額	1,721,087	2,058,009	7位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	451	449	9位 / 国公立	
	受入額	1,585,213	1,788,918	6位 / 国公立	
大企業のみ	件数	380	388	9位 / 国公立	
	受入額	1,468,494	1,648,170	6位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	71	61	25位 / 国公立	
	受入額	116,719	140,748	12位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	35	42	5位 / 国公立

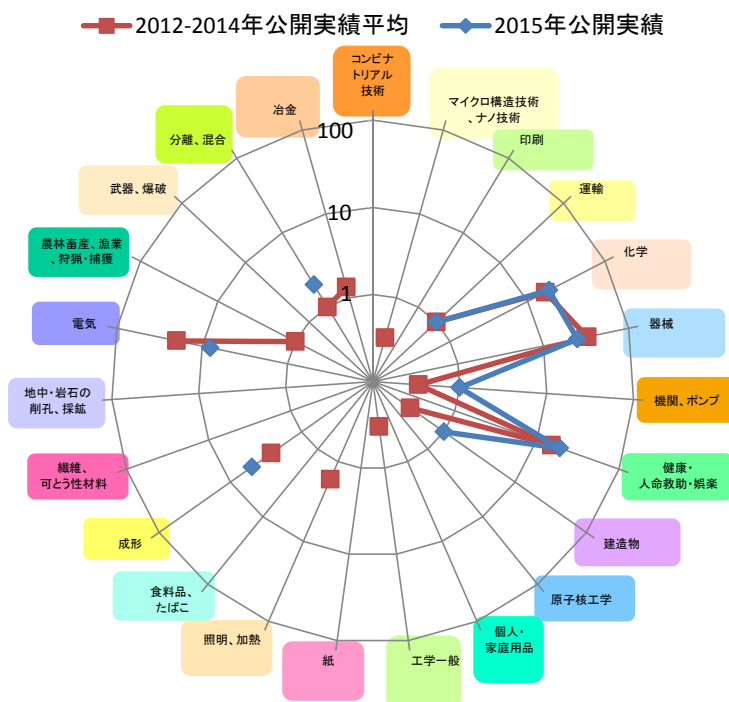
受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	593	671		
	受入額	5,585,593	9,284,665		
民間企業のみ	件数	204	196		
	受入額	721,653	788,051		
大企業のみ	件数	163	144		
	受入額	648,663	663,477		
中小企業のみ	件数	41	52		
	受入額	72,990	124,574		
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	18	17	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

特許出願件数	157
特許保有件数	654

特許権実施等件数	259
特許権実施等収入	147,857

技術分類別出願分布(公開日ベース)



出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学;衛生学	18
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	11
3	G01	測定、試験	10
3	G06	計算、計数	10
5	H04	電気通信技術	5
6	B23	工作機械等	3
6	C08	有機高分子化合物等	3
6	C01	無機化学	3
6	G02	光学	3

私立 関西大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	20名以上30名未満
研究者数	834 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	107	119	位 / 国公立
	受入額	96,520	113,010	位 / 国公立
民間企業のみ	件数	102	113	位 / 国公立
	受入額	88,797	104,678	位 / 国公立
大企業のみ	件数	74	83	位 / 国公立
	受入額	68,643	87,346	位 / 国公立
中小企業のみ	件数	28	30	位 / 国公立
	受入額	20,154	17,332	位 / 国公立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	86	86	
	受入額	337,173	341,581	
民間企業のみ	件数	39	48	
	受入額	47,586	47,031	
大企業のみ	件数	31	34	
	受入額	35,468	33,413	
中小企業のみ	件数	8	14	
	受入額	12,118	13,618	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

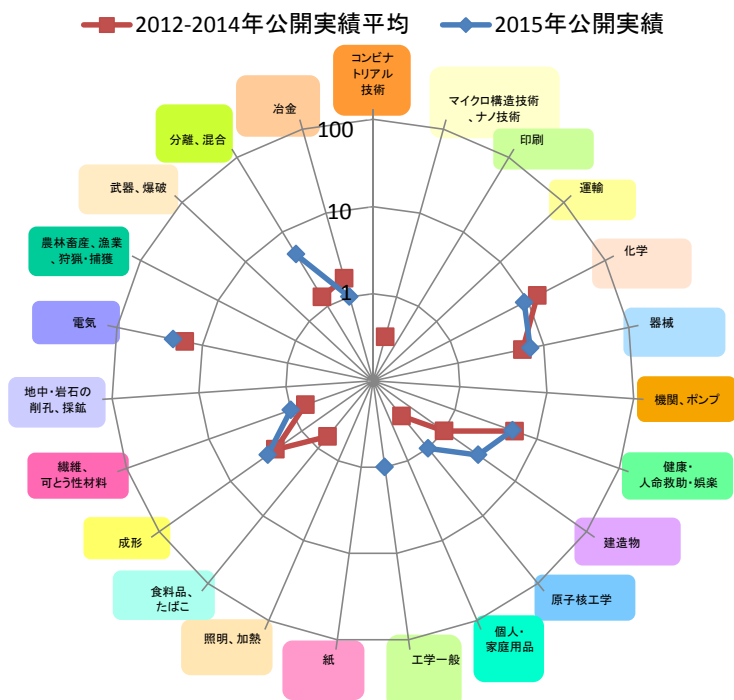
特許出願件数	123
特許保有件数	165

特許権実施等件数	38
特許権実施等収入	4,280

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	H01	基本的電気素子	13
2	H04	電気通信技術	8
3	A61	医学・獣医学;衛生学	5
3	C08	有機高分子化合物等	5
5	B01	物理的・化学的方法または装置一般	4
6	G03	写真、映画等、電子写真、ホログラフイ	3
7	C07	有機化学	2
7	G06	計算、計数	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)

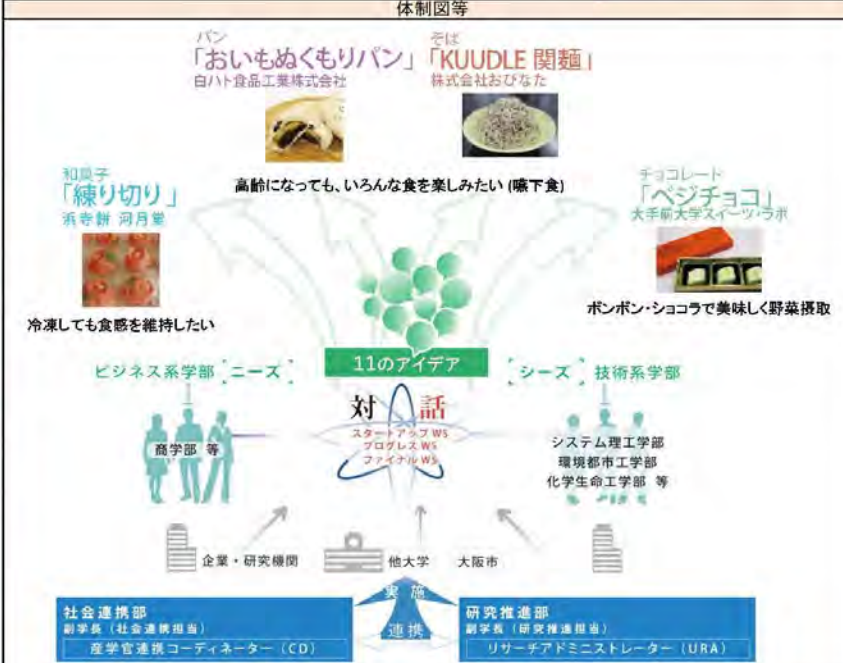


産学連携取組紹介

平成27年度

D-アミノ酸高生産菌を用いたD-アミノ酸強化黒酢の製品化							
本件連絡先							
機関名	関西大学	部署名	学長室 社会連携グループ	TEL	06-6368-1245	E-mail	sangakukan-mm@ml.kandai.jp
概要			図・写真・データ				
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>本研究の実用化により、肌や脳の老化に好影響を及ぼすと言われているD-アミノ酸というものに対する認知度の向上、新しい食品への応用の機会が増大した。</p> <p>・成果</p> <p>関西大学化学生命工学部と福山黒酢株式会社は、共同研究により見出されたD-アミノ酸高生産乳酸菌を用いて、高濃度のD-アミノ酸を含む黒酢を製品化した。これにより、肌によく食品のうまみにも関与するといわれるD-アミノ酸を豊富に含む商品が開発できた。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>共同研究先企業は、役員以下一丸となって研究成果から新商品を開発しようとする思いが強く、大学と共に黒酢もろみから分離した高生産乳酸菌を見出し、トライアンドエラーを繰り返しながら長い年月をかけた仕込み条件について探索し続けたことによる。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>日本生物工学会シンポジウムにて老川教授のD-アミノ酸の講演がきっかけとなって共同研究を開始した。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>研究開始時から、D-アミノ酸を用いた黒酢加工品を開発するという明確な条件が提示された。</p>			 <p>果実の風味を楽しめるフルーツ黒酢セット (関西大学 × 黒酢 梅志田)</p>  <p>ピュアミノセット 2,880円</p> <ul style="list-style-type: none"> 生フルーツ黒酢 りんご 100ml×1 生フルーツ黒酢 ブルーベリー 100ml×1 生フルーツ黒酢 いちご 100ml×1 <p>新鮮な生の果実と黒酢「梅志田」にふんだんに漬け込んだ生フルーツ黒酢のギフトセット。黒酢「梅志田」の高濃度のD-アミノ酸による「旨み」をお楽しみいただけます。搾めて飲むほか、アイスクリームなどにかけても美味しくいただけます。</p> <p>※今回、関西大学化学生命工学部の老川教授と梅志田との共同研究により開発されたD-アミノ酸強化黒酢を使用しております。黒酢もろみから分離したD-アミノ酸高生産乳酸菌を黒酢もろみに添加して醸成した黒酢の中には別に良く、食品の旨味にも関与するといわれているD-アミノ酸が豊富に含まれています。</p>				
概要			図・写真・データ				
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>・D-アミノ酸高生産乳酸菌を用いたD-アミノ酸強化発酵食品の製造例はない。 ・本法で食品中のD-アミノ酸濃度を2倍以上に高めることができる。</p>			<p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL</p> <p>農業・食品産業技術総合研究機構(生物系特定産業技術研究支援センター)の支援を受けた。</p>				

平成26年度

文理融合型イノベーション対話プログラム「AJICON(アジコン)」 ～「学生の力」で大学の技術をスピードに商品化～		機関名	関西大学
		産連本部名等	学長室 研究支援グループ
概要	体制図等		
<p>AJICON[®]は、ビジネス系学部と技術系学部の連携によって、イノベーションの可能性を秘めた技術シーズの事業化に向けたアイデア創出やビジネスプランの作成、企業や市民をはじめとした多様なステークホルダーとの対話ワークショップやラピッドプロトタイピングなどを通じて、技術シーズの迅速な社会実装を目指す取組です。</p> <p>平成26年度は「食」をテーマとして、本学の河原 秀久教授(平成27年度 文部科学大臣表彰受賞)が有する革新的技術を応用した、新しい食品の商品化を目指しました。</p> <p>本取組では、アイデアの創出とビジネスプランの作成を、ビジネス系学部の学生約50人が教育カリキュラムの一環として取り組むことで、従来よりも短時間で多数のアイデアを創出し、ビジネスプランを作成することができました。さらに、アイデア段階や試作段階から企業や市民などを巻き込んだワークショップを開催し、試食などを通じて消費者・開発者の視点から技術シーズやビジネスプランを検証しました。その結果、「開発に参加したい」と強い関心を示す企業を発掘することに成功し、11点のアイデア(ビジネスプラン)に対して4社(浜寺餅 河月堂、大手前大学スイーツラボ、白ハト食品工業(株)、(株)おひなた)が商品化を決定し、実際に販売されました。</p> <p>今後、食の分野での活動を継続するとともに、他の分野への展開も進めます。</p> <p>*AJICON: ALL JAPAN INNOVATION by Conversation, Contest and Competition</p>	 <p>パン 「おいもめくもりパン」 白ハト食品工業株式会社</p> <p>そば 「KUUDLE 関麺」 株式会社おひなた</p> <p>和菓子 「練り切り」 浜寺餅 河月堂</p> <p>チョコレート 「ベジチョコ」 大手前大学スイーツラボ</p> <p>高齢になっても、いろんな食を楽しみたい(嚥下食)</p> <p>冷凍しても食感を維持したい</p> <p>ポンポン・ショコラで美味しく野菜摂取</p> <p>11のアイデア</p> <p>対話: スタートアップWS, フラグレスWS, ファイナルWS</p> <p>ビジネス系学部: ニーズ, シーズ</p> <p>技術系学部: シーズ</p> <p>商学部等</p> <p>システム理工学部, 環境都市工学部, 化学生命工学部 等</p> <p>企業・研究機関, 他大学, 大阪市</p> <p>社会連携部 (副学長(社会連携担当) 産学官連携コーディネーター (CD))</p> <p>研究推進部 (副学長(研究推進担当) リサーチアドミニストレーター (URA))</p>		

私立 早稲田大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	10名以上20名未満
研究者数	2,253 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	372	327	16位 / 国公立	
	受入額	907,687	1,019,127	11位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	307	273	17位 / 国公立	
	受入額	592,542	651,293	12位 / 国公立	
大企業のみ	件数	266	245	12位 / 国公立	
	受入額	523,899	586,083	12位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	41	28	位 / 国公立	
	受入額	68,643	65,210	26位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	6	23位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	366	401	
	受入額	3,260,950	4,071,753	
民間企業のみ	件数	160	155	
	受入額	470,522	521,099	
大企業のみ	件数	123	122	
	受入額	383,461	460,465	
中小企業のみ	件数	37	33	
	受入額	87,061	60,634	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	7	4 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

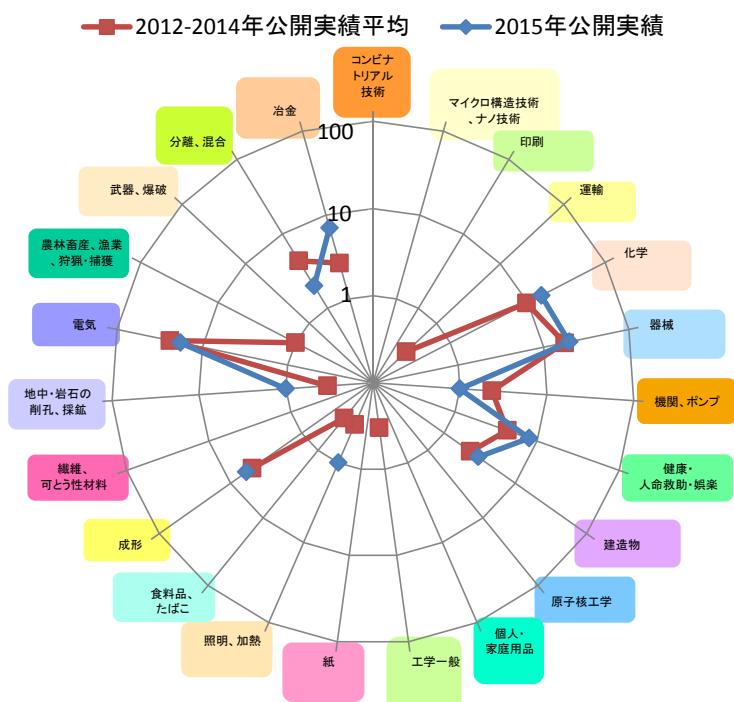
特許出願件数	123
特許保有件数	529

特許権実施等件数	229
特許権実施等収入	10,366

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	8
1	C08	有機高分子化合物等	8
3	A61	医学・獣医学; 衛生学	7
3	G06	計算、計数	7
5	H01	基本的電気素子	6
5	H04	電気通信技術	6
7	C25	電気分解・電気泳動方法、そのための装置	5
8	C01	無機化学	4
9	B23	工作機械等	3
9	H02	電力の発電、変換、配電	3

技術分類別出願分布(公開日ベース)



私立 東京理科大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	30名以上50名未満
研究者数	960 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	231	277	21位 / 国公立	
	受入額	512,551	698,095	14位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	188	234	22位 / 国公立	
	受入額	376,083	500,445	17位 / 国公立	
大企業のみ	件数	141	173	20位 / 国公立	
	受入額	285,646	302,448	19位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	47	61	25位 / 国公立	
	受入額	90,437	197,997	6位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	7	10	14位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	132	155		
	受入額	883,757	1,201,105		
民間企業のみ	件数	42	48		
	受入額	92,524	106,035		
大企業のみ	件数	35	36		
	受入額	86,491	85,648		
中小企業のみ	件数	7	12		
	受入額	6,033	20,387		
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1	2	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

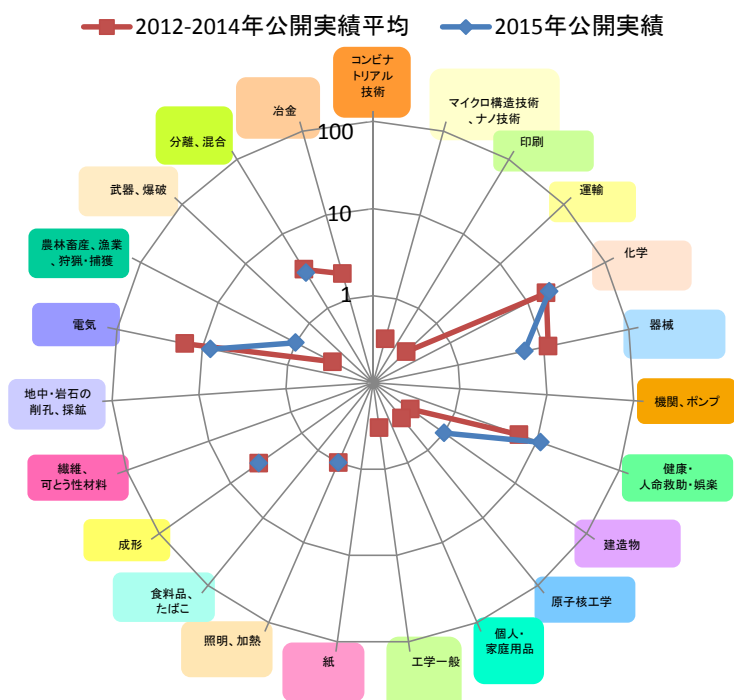
特許出願件数	85
特許保有件数	298

特許権実施等件数	106
特許権実施等収入	11,884

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学;衛生学	10
2	H01	基本的電気素子	5
2	C08	有機高分子化合物等	5
4	C07	有機化学	4
4	C01	無機化学	4
4	G02	光学	4
4	C09	染料、ペイント、つや出し、天然樹脂、接着剤等	4
8	B01	物理的・化学的方法または装置一般	3

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成27年度

熱電変換材料							
本件連絡先							
機関名	東京理科大学	部署名	研究戦略・産学連携センター	TEL	03-5228-7440	E-mail	ura@admin.tus.ac.jp
概要				体制図等			
<p>◇ 概要</p> <p>将来のエネルギー確保と地球環境の維持は、重大な問題として人類にのしかかっています。地球の温暖化を抑制しながらも、今後増大していく人類が生活していくため、化石燃料に代わる新たなエネルギー源の開発が、世界的規模で行われています。この新しいエネルギーの開発はたいへん注目されている分野ですが、その一方で、現状使われているエネルギーの効率を如何に向上させるかという課題に取り組むことは、現実的なソリューションとして見過ごすことはできません。東京理科大学では、現在は未利用のままほとんどが捨てられている「排熱」のエネルギーを回収し、それを「電気エネルギーとして再エネルギー化」するための研究に取り組んでいます。</p> <p>◇ 課題：① 高効率の熱電変換物質の探索；② 実用化のための材料合成、熱電変換デバイスおよび利用システムの開発</p> <p>◇ 未利用の熱源と熱電変換材料</p>				<p>◇ 体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内の研究者 基礎工学部・材料工学科 飯田 努 教授 基礎工学部・材料工学科 西尾 圭史 教授 工学部・教養 山本 貴博 准教授 山口東京理科大学・工学部 阿武 宏明 教授 ・総合研究院 未利用熱エネルギー変換研究部門 大学内の連携 他大学・研究機関との連携 ・排熱発電コンソーシアム 2009年設立、現在22社が参加、実用化を目指すための産学官連携による 技術情報交換、プロジェクト提案、知的財産の活用促進 <p>◇ 研究プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業、大学・公的研究機関との共同研究等 ・NEDOプロジェクトの推進 【シリサイド】 クリーンデバイス社会実装推進事業 (H27-28) 戦略的省エネルギー技術革新プログラム (H27-29) 未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合 (H25-29) 【クラスレート】 「熱電変換材料・デバイス高性能高信頼化技術開発」における新たな技術シーズ発掘のための 小規模研究開発 (H27-28) 【カーボン系 (CNT)】 低炭素社会を実現するナノ炭素材料実用化プロジェクト (H27-28) 【高分子系】 未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合 (H25-29) 			

平成27年度

マッスルスーツに新たなスタンドアロンタイプを追加し販売開始 (株式会社イノフィス)														
本件連絡先														
機関名	東京理科大学	部署名	研究戦略・産学連携センター	TEL	03-5228-7440	E-mail	ura@admin.tus.ac.jp							
概要				図・写真・データ										
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>腰痛は、介護、物流、工場労働、農作業等の幅広い産業において多くの発症が認められており、解決すべき国民の健康問題の一つとなっている。すなわち、腰痛発症を回避したいという意図から就労者が集まらない、あるいは腰痛悪化による作業の継続を断念するなどの現象が生じ、これに高齢化に伴う労働人口の激減が追い打ちを掛け、我が国の生産力低下という悪循環を生んでいる。その問題点を解決するため、東京理科大学発ベンチャーである株式会社イノフィスは、同大学の研究成果をもとに、外骨格型の装着型動作補助装置であるマッスルスーツを商品化し2013年より出荷を開始した。しかし、販売当初のマッスルスーツは、コンプレッサへのチューブ接続が必要なため作業範囲に制約が生じたり、タンク等を搭載しているため機体重量が増したりといった課題があり、市場からは更に高い作業性、軽量化されたマッスルスーツの出現が望まれていた。</p>														
<p>・成果</p> <p>東京理科大学の研究成果を活かして、新たにStand Aloneタイプのマッスルスーツを株式会社イノフィスより2016年3月に販売開始。これは、従来タイプのマッスルスーツには必要不可欠であったコンプレッサまたはタンク等を不要にしたモデルである。補助力は従来比20%減に抑えながら、従来約5.5Kgであった重量を約4.7Kgまで削減し、ユーザの装着負担を低減した。</p>														
<p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>本学工学部機械工学科の小林宏教授の軽量化に関する研究成果を商品化すべく、株式会社イノフィス及び量産設計・製作・販売会社である菊池製作所と共同で、動作分析、試作、装着、試験、確認、評価を繰り返し実行し、定量的評価に基づいた製品開発を進めてきた。</p>				<p>・図・写真・データ</p> <table border="1"> <tr> <td>補助力</td> <td>最大 100Nm (約25kgf)</td> </tr> <tr> <td>本体重量</td> <td>4.7kg (カバー除く)</td> </tr> <tr> <td>駆動源</td> <td>空気圧式McKibben型人工筋肉 (外部からの圧力供給不要)</td> </tr> <tr> <td>アシスト部位</td> <td>腰、および脚 (脚のみで作業する場合)</td> </tr> </table>			補助力	最大 100Nm (約25kgf)	本体重量	4.7kg (カバー除く)	駆動源	空気圧式McKibben型人工筋肉 (外部からの圧力供給不要)	アシスト部位	腰、および脚 (脚のみで作業する場合)
補助力	最大 100Nm (約25kgf)													
本体重量	4.7kg (カバー除く)													
駆動源	空気圧式McKibben型人工筋肉 (外部からの圧力供給不要)													
アシスト部位	腰、および脚 (脚のみで作業する場合)													
<p>・研究開発のきっかけ</p> <p>従来タイプのマッスルスーツユーザからの声に常に耳を傾け、シーズありきの研究開発ではなく、ニーズドリブンである研究開発を心がけたことにより、本タイプの開発につながった。</p>				<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 産学官連携功労者表彰で日本経済団体連合会会長賞を受賞しました。 										
<p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>株式会社イノフィスからの要請により、本学は施設支援 (場所、設備)、投資支援、知財支援など多方面からの総合支援を行っている。</p>				<p>参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノフィス: http://innophysics.jp/concept.html ・小林研究室: http://kobalab.com/ ・内閣府の受賞サイト: http://www8.cao.go.jp/cstp/sangakukan/sangakukan2015/10_keidanren.pdf 										
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>従来のマッスルスーツでは、エア調整でMcKibben型人工筋肉を収縮させる為にコンプレッサやチューブ、タンクが必要であり、インターフェイス (圧縮エア開閉スイッチ) も必要であった。本研究発明では、所望の空気圧になるよう予めエアを封入した構造で使用しても、従来のマッスルスーツと同様のアシスト効果を得られることを利用して、それらの周辺器材やインターフェイスをなくし、全体の軽量化に寄与するものである。</p>														

私立 日本大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	10名以上20名未満
研究者数	4,091 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	73	84	位 / 国公立	
	受入額	151,409	129,843	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	61	68	位 / 国公立	
	受入額	130,322	114,611	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	49	57	位 / 国公立	
	受入額	121,081	105,873	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	12	11	位 / 国公立	
	受入額	9,241	8,738	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	2	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	265	307	
	受入額	703,439	791,265	
民間企業のみ	件数	157	169	
	受入額	247,904	228,309	
大企業のみ	件数	97	101	
	受入額	156,172	157,459	
中小企業のみ	件数	60	68	
	受入額	91,732	70,850	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	1 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

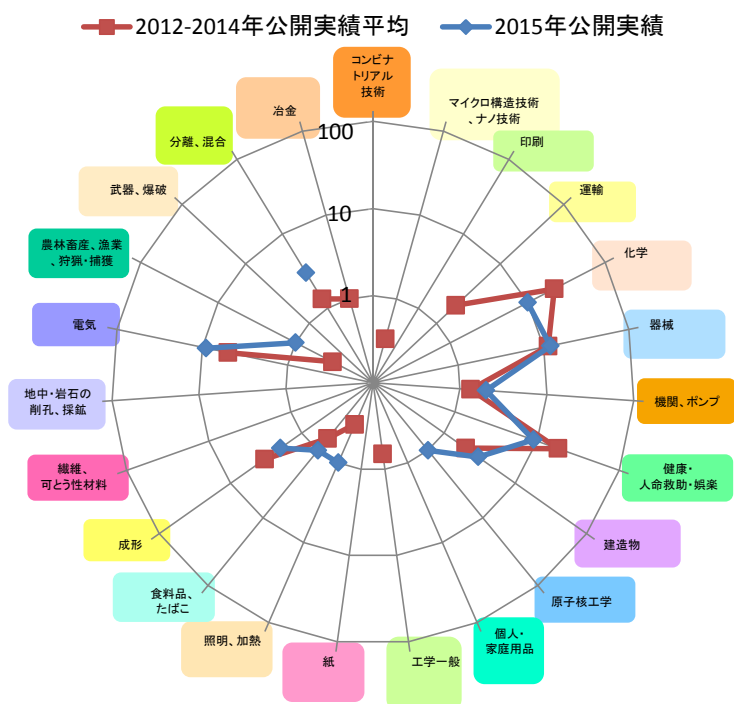
特許出願件数	83
特許保有件数	484

特許権実施等件数	218
特許権実施等収入	86,401

出願数上位技術分野(2015年公開)

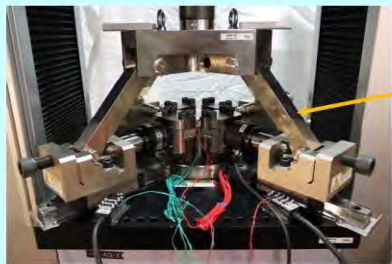

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	9
2	G01	測定、試験	8
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	4
4	H01	基本的電気素子	3
4	C07	有機化学	3
4	H04	電気通信技術	3
7	G06	計算、計数	2
7	E02	水工、基礎、土砂の移送	2
7	B06	機械的振動の発生・伝達一般	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成27年度


材料試験機(金属板材の二軸引張試験装置の開発)							
本件連絡先							
機関名	日本大学産官学連携知財センター	部署名	研究推進部 知財課	TEL	03-5275-8139	E-mail	nubic@nihon-u.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>環境負荷低減のため車体の軽量化は、積極的に進められています。その方策として、高強度な材料を使用してプレス成形で部品が製造されています。高強度な材料ほど、成形後の弾性回復による変形が大きく、金型の設計には、高精度な成形シミュレーション技術が必要不可欠となっています。</p> <p>・成果</p> <p>解析の高精度化のためには、プレス成形状態での材料特性計測が必要となりますが、これまでは高精度制御を必要とした高価な計測装置しかありませんでした。そこで、日本大学と株式会社島津製作所は、共同研究により、汎用の計測装置を活用した安価な計測装置を開発することに成功しました。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>大学での材料特性計測におけるデータ解析技術と、試験機メーカーであるが故の使い易さおよび安全面をも考慮した計測装置の設計技術の融合により装置開発が成功しました。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>鋼板の二軸引張試験方法に関するISO規格の開発検討委員会に、日本大学と株式会社島津製作所が参画して規格化を進める中で意見交換していたことがきっかけとなりました。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>共同研究先が提供の汎用材料試験機への開発試験装置の容易な装着が求められました。</p>				 <p>リンク機</p>  <p>チャック ロードセル</p>			
概要				図・写真・データ			
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>試験装置の駆動に高価なサーボ制御技術必要とせず、汎用の材料試験装置と独特のリンク機構を有する試験装置を組み合わせ、十字形状試験片の各腕に引張力を作用させることを可能としました。リンク部品を交換することにより、引張比の変化を可能としました。</p>				<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEDO : 輸送機器の軽量化板材の二軸引張試験方法に関する標準化事業の支援を受けました。 ・3rd Zwick Academia Day with the Science Award 2011 (銀賞受賞) ・株式会社島津製作所HP : http://www.an.shimadzu.co.jp/test/products/mtr103/biaxial.htm 			

平成26年度

「音声付き電子書籍・教材編集ソフトChattyInfty3の開発」

(日本大学)

ソフトウェアChattyInfty3は、漢字や数式の読み誤りを修正するため、DAISYに新たに「読み」(隠れたルビ)を挿入できるようにし、さらに高品質日本語合成音声であるAIトークを利用した抑揚や息継ぎの編集を行うためのインターフェース、DAISYのインデックスを編集する機能などを開発・実装し、日本語固有の「漢字の多義性」にも対応した結果、直感的な操作で効率的にDAISY図書の製作が可能となり、全盲、重度弱視、発達性読字障害など様々な形で視覚に障害を有する人が利用可能になった。



高校数学の積分を学習する画面

私立 近畿大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	2,143 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	51	45	位 / 国公立
	受入額	-	-	位 / 国公立
民間企業のみ	件数	18	18	位 / 国公立
	受入額	-	-	位 / 国公立
大企業のみ	件数	10	6	位 / 国公立
	受入額	-	-	位 / 国公立
中小企業のみ	件数	8	12	位 / 国公立
	受入額	-	-	位 / 国公立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	354	379	
	受入額	788,348	873,301	
民間企業のみ	件数	239	275	
	受入額	264,784	346,652	
大企業のみ	件数	139	135	
	受入額	176,687	265,507	
中小企業のみ	件数	100	140	
	受入額	88,097	81,145	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	5 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

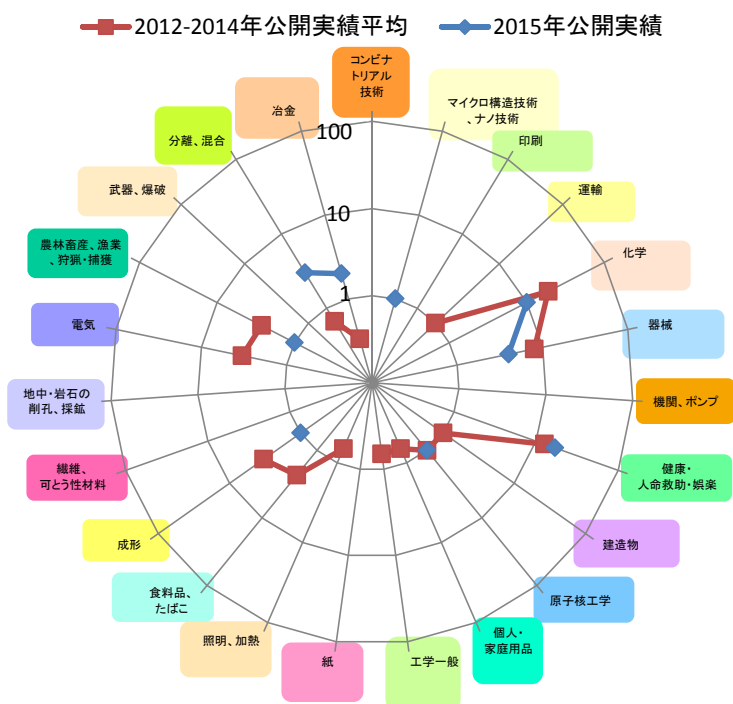
特許出願件数	74
特許保有件数	339

特許権実施等件数	24
特許権実施等収入	10,469

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	17
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	5
3	G01	測定、試験	3
3	C07	有機化学	3
5	B01	物理的・化学的方法または装置一般	2
5	C23	金属製材料への処理; 金属製材料による材料への処理; 多相的界面処理; 金属製材料の表面処理; 金属製材料、スラッシュ、インシエンタ、粉砕は化学製法による処理一般; 金属製材料の表面処理は金属の処理一般	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成27年度

近大卒の魚と紀州の恵み 近畿大学水産研究所							
本件連絡先							
機関名	近畿大学	部署名	リエゾンセンター	TEL	06-4307-3099	E-mail	klc@kindai.ac.jp
概要				体制図等			
<p>養殖魚の専門料理店「近大卒の魚と紀州の恵み 近畿大学水産研究所」は2013年4月にうめきた・グランフロント大阪に2013年12月には銀座に出店しました。現在も営業中です。本学が世界で初めて完全養殖に成功した近大マグロを始め、研究育成した養殖魚を直接消費者の方に提供する全国でも例を見ない養殖魚の専門料理店です。サントリーグループ・和歌山県との連携により、高い研究力を誇る本学の成果を情報発信し、消費者の方に実際に体験していただく絶好の場として提供します。</p> <p>「近大卒の魚と紀州の恵み 近畿大学水産研究所」では、本学水産研究所が育ててきた安心・安全、そして美味しい養殖魚を中心とした魚料理を提供しています。さらに、魚類以外の食材でも、水産研究所が所在する和歌山県の協力を得て、和歌山県産の食材にこだわることも大きな特徴です。同じ和歌山で育った食材と近大産の魚類との相性の良いコラボレーションメニューを楽しんでいただいています。店舗開発、運営等については飲食ビジネスに精通したサントリーグループがパートナーとしてトータルサポートします。大学が研究の成果として自ら生産したものを、産官学が連携して専門料理店にて消費者に直接提供するケースは、日本の大学では初めての試みです。</p> <p>研究成果を料理として提供するだけでなく消費者からの味・価格等の評価を研究現場にフィードバックし、更に美味しく、安心・安全な魚類の育成に生かします。</p> <p>また、店舗では、近畿大学生がインターンシップや 商品企画、食器製作などの面で参画しており、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文芸学部芸術学科造形芸術専攻の学生が制作した 食器(写真右)の使用 ・農学部食品栄養学科の学生によるメニュー考案を実施致しました。 <p>近畿大学水産研究所店舗 ホームページ http://kindaifish.com/</p>				 			

平成27年度

近大マグロのコラーゲンを利用したリップスクラブ、グミサブリ2種(美はお口から研究所シリーズ)							
本件連絡先							
機関名	近畿大学	部署名	リエゾンセンター	TEL	06-4307-3099	E-mail	klc@kindai.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>安心安全な化粧品やお菓子が求められています。</p>							
<p>・成果</p> <p>近大マグロのコラーゲンを利用し、UHA味覚糖のグミの技術の融合、さらに化粧品分野への応用が取り組まれました。</p>							
<p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>UHA味覚糖と近大マグロの優れた素材がマッチし、UHA味覚糖の従来のお菓子の分野プラス新しい化粧品分野への挑戦する意向とが本学とうまくマッチしました。</p>							
<p>・研究開発のきっかけ</p> <p>それぞれの担当者があるきっかけで会うことになり、それぞれの長所を生かした商品開発へとつながりました。</p>							
<p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>商品化までの想定期間が短かったため、素早い対応が求められました。</p>							
概要				図・写真・データ			
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>従来のペプチドコラーゲンではなく、フルレンジコラーゲンの精製技術を駆使することにより、マグロの素材提供という点だけでなく、優位性を担保しました。また、薬学部の分析力、文芸学部のデザイン力、経営学部のマーケティング力を合わせた文理融合の総合大学としてのメリットを最大限活用しました。</p>				<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p>http://www.news2u.net/releases/143094 http://www.tv-tokyo.co.jp/gaia/backnumber3/preview_20160315.html</p>			

私立 同志社大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	20名以上30名未満
研究者数	851 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	89	98	位 / 国公立	
	受入額	133,623	125,668	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	78	86	位 / 国公立	
	受入額	89,595	94,474	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	65	72	位 / 国公立	
	受入額	74,923	82,768	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	13	14	位 / 国公立	
	受入額	14,672	11,706	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	1	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	98	94		
	受入額	587,284	702,983		
民間企業のみ	件数	43	49		
	受入額	40,994	48,394		
大企業のみ	件数	34	43		
	受入額	38,110	46,234		
中小企業のみ	件数	9	6		
	受入額	2,884	2,160		
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	-	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

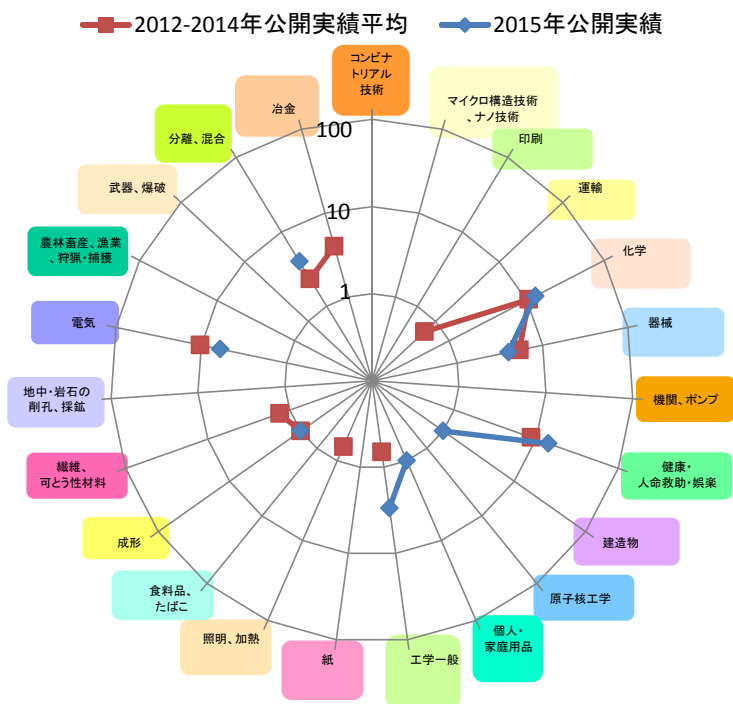
特許出願件数	73
特許保有件数	314

特許権実施等件数	70
特許権実施等収入	30,617

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	14
2	H01	基本的電気素子	5
3	G01	測定、試験	4
3	B01	物理的・化学的方法または装置一般	4
5	C07	有機化学	3
5	C08	有機高分子化合物等	3
5	C04	セメント、コンクリート、人造石、セラミックス、耐火物	3
5	F16	機械要素・厚板、機械・装置の物理的機能を維持するための一般的手段	3
9	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成26年度

「レアメタル・ベースメタルの革新的製造技術の実用化」

(同志社大学)

レアメタルやベースメタルの製造には電解採取法と呼ばれる電気分解プロセスが利用されていますが、これによって世界で消費される電力量は、日本の一般家庭1000万世帯以上の年間消費量に匹敵するほど莫大でした。この電力消費を最大36%も削減できる技術として、同志社大学の盛満正嗣教授は新たな電解採取用陽極の開発に成功しました。その特許とノウハウはOutotec社(アメリカ)に実施許諾され、製品化された陽極は電解採取プラントでの実用化に成功し、現在、世界16カ国のプラントで導入が進められています。



実用化された電解採取用陽極(製品例)

私立 北里大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	1,833 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	37	43	位 / 国公立	
	受入額	127,074	101,802	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	28	32	位 / 国公立	
	受入額	83,496	55,427	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	21	20	位 / 国公立	
	受入額	77,135	41,295	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	7	12	位 / 国公立	
	受入額	6,361	14,132	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1	1	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	83	93	
	受入額	330,146	398,136	
民間企業のみ	件数	28	31	
	受入額	28,809	61,279	
大企業のみ	件数	17	23	
	受入額	16,475	47,255	
中小企業のみ	件数	11	8	
	受入額	12,334	14,024	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	1 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

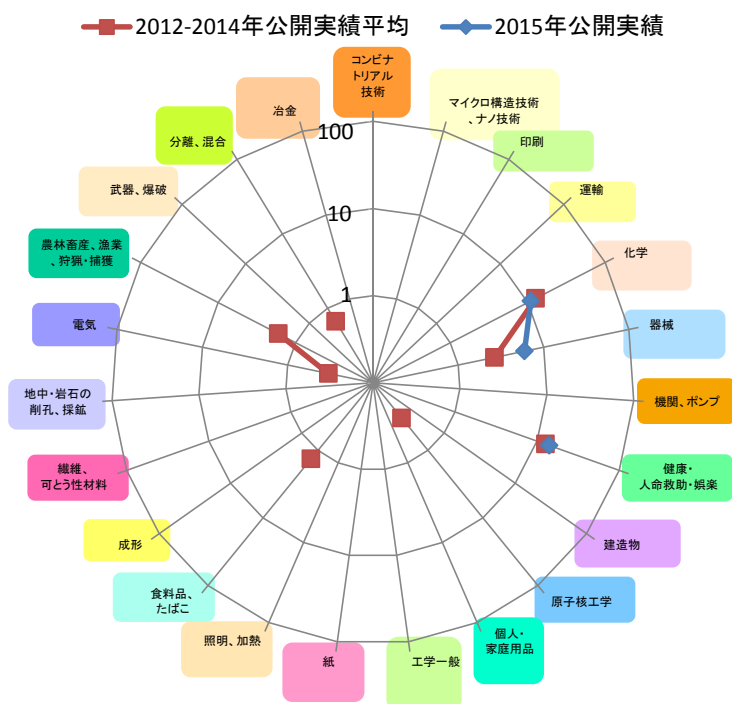
特許出願件数	54
特許保有件数	268

特許権実施等件数	6
特許権実施等収入	61,080

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	14
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	6
2	G01	測定、試験	6
4	C07	有機化学	4
5	C09	染料、ペイント、つや出し、天然樹脂、接着剤等	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



私立 立命館大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	30名以上50名未満
研究者数	1,495 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	97	98	位 / 国公立	
	受入額	163,936	128,405	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	67	64	位 / 国公立	
	受入額	102,030	87,163	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	55	54	位 / 国公立	
	受入額	74,515	77,578	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	12	10	位 / 国公立	
	受入額	27,515	9,585	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1	1	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	383	448	
	受入額	1,044,511	913,118	
民間企業のみ	件数	247	287	
	受入額	281,939	298,036	
大企業のみ	件数	153	161	
	受入額	213,756	195,478	
中小企業のみ	件数	94	126	
	受入額	68,183	102,558	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	4	3 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

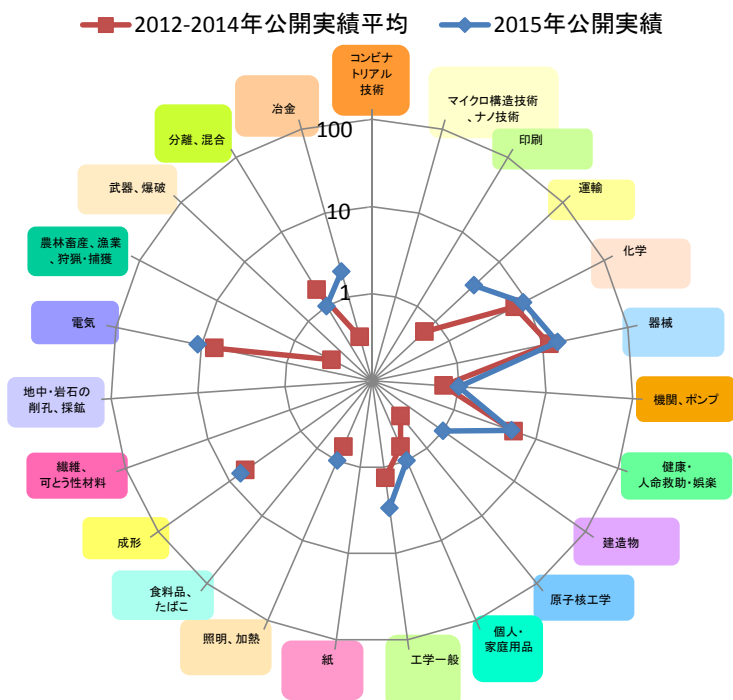
特許出願件数	50
特許保有件数	230

特許権実施等件数	36
特許権実施等収入	5,522

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	7
2	H04	電気通信技術	6
2	G06	計算、計数	6
4	G01	測定、試験	5
4	B24	研削、研磨	5
6	A61	医学・獣医学; 衛生学	4
6	H01	基本的電気素子	4
8	G08	信号	3

技術分類別出願分布(公開日ベース)




産学連携取組紹介

平成27年度

手を離すとオフになるアイドリングストップ機能搭載マウスを開発～待機電力消費をゼロに～							
本件連絡先							
機関名	立命館大学	部署名	BKCリサーチオフィス	TEL	077-561-2802	E-mail	liaisonb@st.ritsumei.ac.jp
概要			図・写真・データ				
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>大量消費社会も転換期を迎え、限られたエネルギーを有効的に活用することが世界的に求められています。しかし、私達の生活の中にはエネルギー（主に電力）が必要な道具で溢れています。</p> <p>・成果</p> <p>エレコム株式会社と本学との協同研究で誕生した「アイドリングストップ機能」搭載BlueLEDマウスが2015年9月発売されました。マウスを握るだけで自動的に電源がオンになり、手を離すと自動的に電源がオフになります。この機能により単4形電池2本で約2年間電池の取り替えが不要になりました。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>製品化にいたる課程で発生した問題を、両者が情報を共有・議論し、粘り強く消しこむ事で実用化に至りました。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>道関研究室で開発した「ノーマリオフ検出回路（ゼロ待機電力・起動回路）」を本学のHPで発表したところ、その記事をご覧になられたエレコム社から製品開発の打診がありました。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>ラポレベルでの研究・実験内容の開示を求められました。製品への実装についても、都度、問題解決に向けてのアイディア提供や実験実施も認識を共有しながら進める事を求められました。</p>			<p>産学協同 立命館大学 × ELECOM</p>  <p>片方のLEDセンサーを離すと電源がONになり、手を離すと両方のLEDセンサーが光を認識すると電源がOFFになります。 ※アイドリングストップ機能は発光を検出して電源を管理するため、奥のLEDは常に点灯し続けます。奥のLEDは常に点灯する場合は、アイドリングストップ機能を無効にすることができます。</p> <p>立命館大学 道関 隆国 教授 プロデュース LEDは、太陽電池と同様、半導体素子なので室内光でわずかながら発電します。LED発光の有無を、その発電電力で検出できるノーマリオフ検出回路を考案することにより、使用時に必要だったマウスの電源スイッチ操作を不要にしました。本発明は、身の回りに数分はなら常に存在するエネルギーを利用するマイクロ環境発電の研究から生まれた成果です。</p>  <p>本学のHPにて初期に公開したマウス 製品化されたマウス</p>  <p>LED₁ LED₂ LED₃ LED₄ LED₅ LED₆ LED₇ LED₈ LED₉ LED₁₀ LED₁₁ LED₁₂ LED₁₃ LED₁₄ LED₁₅ LED₁₆ LED₁₇ LED₁₈ LED₁₉ LED₂₀ LED₂₁ LED₂₂ LED₂₃ LED₂₄ LED₂₅ LED₂₆ LED₂₇ LED₂₈ LED₂₉ LED₃₀ LED₃₁ LED₃₂ LED₃₃ LED₃₄ LED₃₅ LED₃₆ LED₃₇ LED₃₈ LED₃₉ LED₄₀ LED₄₁ LED₄₂ LED₄₃ LED₄₄ LED₄₅ LED₄₆ LED₄₇ LED₄₈ LED₄₉ LED₅₀ LED₅₁ LED₅₂ LED₅₃ LED₅₄ LED₅₅ LED₅₆ LED₅₇ LED₅₈ LED₅₉ LED₆₀ LED₆₁ LED₆₂ LED₆₃ LED₆₄ LED₆₅ LED₆₆ LED₆₇ LED₆₈ LED₆₉ LED₇₀ LED₇₁ LED₇₂ LED₇₃ LED₇₄ LED₇₅ LED₇₆ LED₇₇ LED₇₈ LED₇₉ LED₈₀ LED₈₁ LED₈₂ LED₈₃ LED₈₄ LED₈₅ LED₈₆ LED₈₇ LED₈₈ LED₈₉ LED₉₀ LED₉₁ LED₉₂ LED₉₃ LED₉₄ LED₉₅ LED₉₆ LED₉₇ LED₉₈ LED₉₉ LED₁₀₀</p> <p>LED発電検出回路 nW動作起動回路 ワイヤレスマウス 電池 スイッチトランジスタ</p> <p>ゼロ待機電力・起動回路のブロック図</p>				
概要			図・写真・データ				
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>LEDは室内光でわずかながら発電します。その発電電力で検出できるノーマリオフ検出回路を考案することにより、使用毎に必要なマウスの電源スイッチ操作を不要にしました。本技術は、身の回りに微小ながら常に存在するエネルギーを利用するマイクロ環境発電の研究から生まれた成果です。</p>			<p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL</p> <p>表彰等はありません。</p>				

平成27年度

世界初の循環型農業の“土づくり”の科学的指標 SOFIX の実用化・普及体制の構築							
本件連絡先							
機関名	立命館大学	部署名	BKCリサーチオフィス	TEL	077-561-2802	E-mail	liaisonb@st.ritsumei.ac.jp
概要			図・写真・データ				
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>農業の基本は“土づくり”であり、土壌の化学的、物理的、生物学的性質を総合的に分析する必要があるが、従来の土壌分析技術は化学的・物理的分析のみであった。そのため、ニーズが高まっている有機農業の“土づくり”では経験と勘に頼らざるを得ず、安定した生産が困難であった。</p> <p>・成果</p> <p>立命館大学生命科学部の久保研究室は、従来は困難であった土壌の生物学的性質を科学的に分析し、その改善の処方箋まで提案できるSOFIX（土壌肥沃度指標）技術を開発した。そして、本技術の本格的な普及を進めるため、一般社団法人SOFIX農業推進機構を設立し、分析サービスやコンサルティング事業を開始した。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>SOFIX技術は、個人農家、農業法人、肥料・農業資材・農業機械メーカー、流通販売業者、農業参入を目指す異業種企業、地方自治体など様々なセクターから活用したいという要望が寄せられた。SOFIX農業推進機構は、SOFIX関連の特許等を独自の実施できる契約を立命館大学と締結し、多様なセクターにサービスを提供できる体制を構築した。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>当初は基礎的な研究として、土壌中の微生物量とDNAとの間に相関関係があることを見出し、土壌からDNAを効率的に抽出して、微生物の総量を定量する手法を開発した。その後、様々な企業との共同研究や、農業生産者との交流、研究会の開催などで農業現場のニーズが明らかになり、これに対応してSOFIX技術の体系化が進んだ。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>SOFIX技術を実際の農業現場に使えるように、土壌や堆肥・有機資材についての迅速で安価な分析サービスや分析結果に基づく施肥設計、それぞれの圃場の実情に合わせたコンサルティング、さらに食品加工業や流通・販売業も含めた異業種連携によるビジネスモデルの構築等が求められた。SOFIX農業推進機構はこれらのニーズにも対応している。</p>			<p>イオングループの直営農場でのキャベツの栽培では、SOFIXによる処方での収穫量は慣行農</p>  <p>畑1 (慣行農法) 畑2 SOFIX 畑3 SOFIX 畑4</p> <p>市場</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体 公益法人 農業生産者 個人農業法人 一般企業 肥料・堆肥メーカー コンサルタント 商社・小売業 指定分析機関 IT企業 <p>ハイオマス マッチング・MQI分析 SOFIX分析 プラント認証・ライセンス ユーザー教育・ITサービス</p> <p>ブランド認証・ライセンス トライセックス・教育 データ・サービス</p> <p>一般社団法人 SOFIX農業推進機構</p> <p>ニーズ反映 研究成果 特許・商標</p> <p>R・GIRO 資料研究拠点 立命館大学</p>				
概要			図・写真・データ				
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>SOFIX技術は、土壌の生物学的性質を科学的に分析して、その改善の処方まで提案できる、画期的な“土づくり”の技術であり、再現性があり、生産性が高い有機農業や循環型農業の実現を可能にする。また、土作りのコントロールにより、人体に有害とされる硝酸態窒素の含有量を下げたり、特定の栄養成分、機能性成分の多い農産物を生産することも可能となる。</p>			<p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL</p> <p>TBSの「夢の扉」で「味も栄養価もUP！ 土の“健康診断法”」というタイトルで取り上げられ、全国の野鳥生産者等から300件以上の問い合わせが寄せられた。このことは、SOFIXを活用するニーズが確実にありことを確認し、そのニーズに応える仕組みづくりとして、SOFIX農業推進機構を設立するきっかけともなった。</p>				

私立 中央大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	736 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	76	81	位 / 国公立
	受入額	128,298	161,042	位 / 国公立
民間企業のみ	件数	70	79	位 / 国公立
	受入額	111,646	154,856	位 / 国公立
大企業のみ	件数	61	69	位 / 国公立
	受入額	104,233	134,921	位 / 国公立
中小企業のみ	件数	9	10	位 / 国公立
	受入額	7,413	19,935	位 / 国公立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	39	36	
	受入額	717,278	611,453	
民間企業のみ	件数	11	9	
	受入額	35,614	24,730	
大企業のみ	件数	10	8	
	受入額	23,734	23,720	
中小企業のみ	件数	1	1	
	受入額	11,880	1,010	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

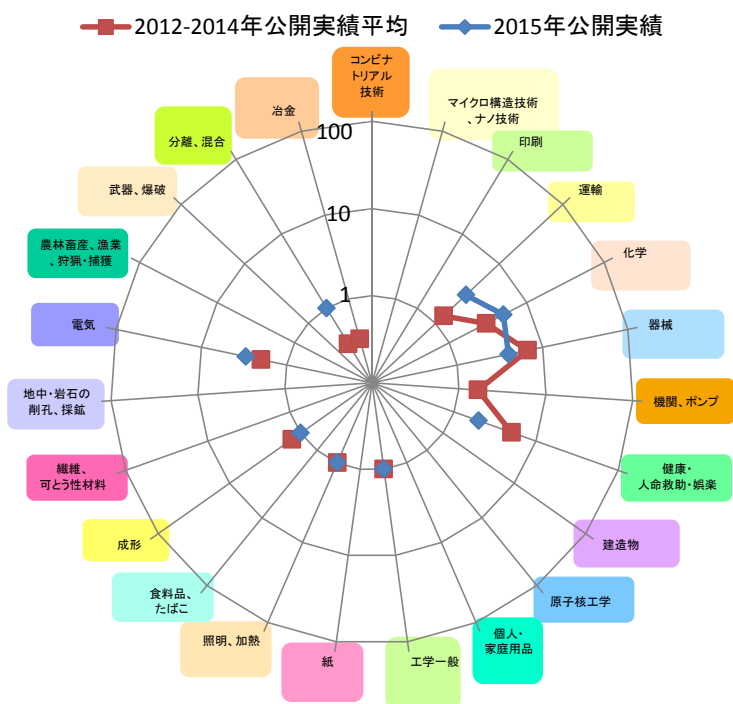
特許出願件数	47
特許保有件数	63

特許権実施等件数	3
特許権実施等収入	244

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学;衛生学	2
1	H04	電気通信技術	2
1	C01	無機化学	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成26年度

「巨大地震に備えて『命の水』を守るための貯水槽用浮体式波動抑制装置の開発—既存貯水槽に簡単施工かつ安価な『タンクセーバー・波平さん』—」

(中央大学)

東日本大震災では、貯水槽の水が大きく揺れ動くことによる破損被害が相次ぎ、学校や医療施設のライフラインが閉ざされました。そこで、中央大学は(株)十川ゴム、(株)エヌ・ワイ・ケイと協力し、既存の貯水槽内に浮かべるだけで揺れによる波高を抑え「命の水」を守る装置を開発しました。波高を半減する優れた制振性能に加え、以下の特徴があります。●基準の厳しい純水装置や飲料水にも使える特殊柔軟性ポリエチレン樹脂を採用し、衛生的●軽量で柔軟性があり、人が簡単に持ち運べ、簡単施工で簡単設置可能●基本的にメンテナンスフリー(高耐久性)



タンクセーバー・波平さんの外観

私立 沖縄科学技術大学院大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	497 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	6	5	位 / 国公立	
	受入額	38,394	78,430	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	3	4	位 / 国公立	
	受入額	24,733	66,430	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	1	3	位 / 国公立	
	受入額	1,950	48,640	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	2	1	位 / 国公立	
	受入額	22,783	17,790	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1	3	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	8	7	
	受入額	129,608	80,481	
民間企業のみ	件数	1	2	
	受入額	7,000	17,463	
大企業のみ	件数	-	-	
	受入額	-	-	
中小企業のみ	件数	1	2	
	受入額	7,000	17,463	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	1 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

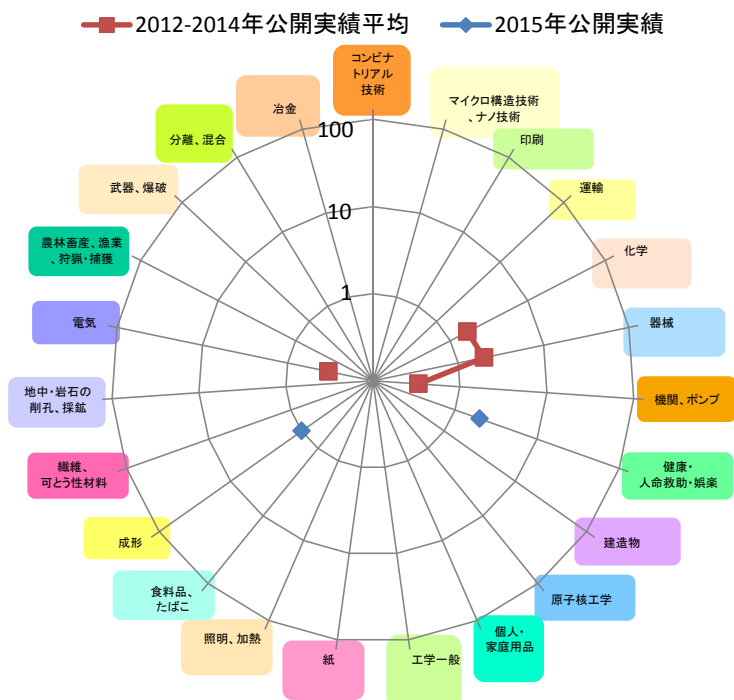
特許出願件数	36
特許保有件数	23

特許権実施等件数	14
特許権実施等収入	3,150

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	2
2	B32	積層体	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



私立 金沢工業大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	20名以上30名未満
研究者数	350 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	110	135	位 / 国公立	
	受入額	150,654	230,552	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	92	129	位 / 国公立	
	受入額	147,424	229,215	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	73	100	位 / 国公立	
	受入額	123,238	214,637	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	19	29	位 / 国公立	
	受入額	24,186	14,578	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	3	2	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	104	105	
	受入額	748,974	529,187	
民間企業のみ	件数	67	68	
	受入額	59,599	37,462	
大企業のみ	件数	41	37	
	受入額	31,716	20,102	
中小企業のみ	件数	26	31	
	受入額	27,883	17,360	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	- (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

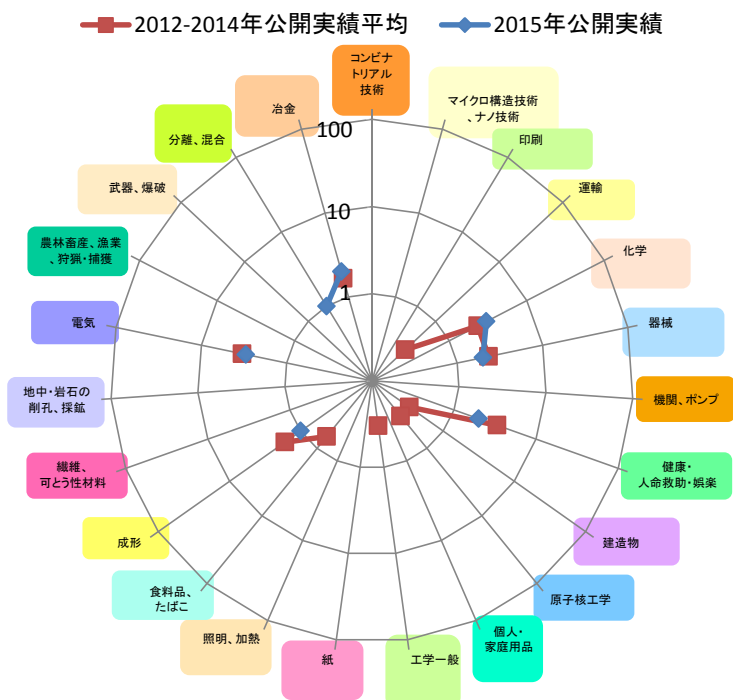
特許出願件数	36
特許保有件数	170

特許権実施等件数	33
特許権実施等収入	2,779

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	2
1	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2
1	G01	測定、試験	2
1	H02	電力の発電、変換、配電	2
1	C22	冶金、鉄・非鉄合金等	2
6	H01	基本的電気素子	1
6	B01	物理的・化学的方法または装置一般	1
6	C09	染料、ペイント、つや出し、天然樹脂、接着剤等	1
6	B29	プラスチックの加工、可塑状態の物質の加工一般	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



私立 名城大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	512 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	52	55	位 / 国公立	
	受入額	108,674	102,279	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	46	47	位 / 国公立	
	受入額	90,152	83,520	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	37	37	位 / 国公立	
	受入額	75,876	66,508	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	9	10	位 / 国公立	
	受入額	14,276	17,012	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	3	2	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	52	52	
	受入額	177,326	142,444	
民間企業のみ	件数	28	26	
	受入額	25,217	13,398	
大企業のみ	件数	15	14	
	受入額	18,945	6,598	
中小企業のみ	件数	13	12	
	受入額	6,272	6,800	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	- (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

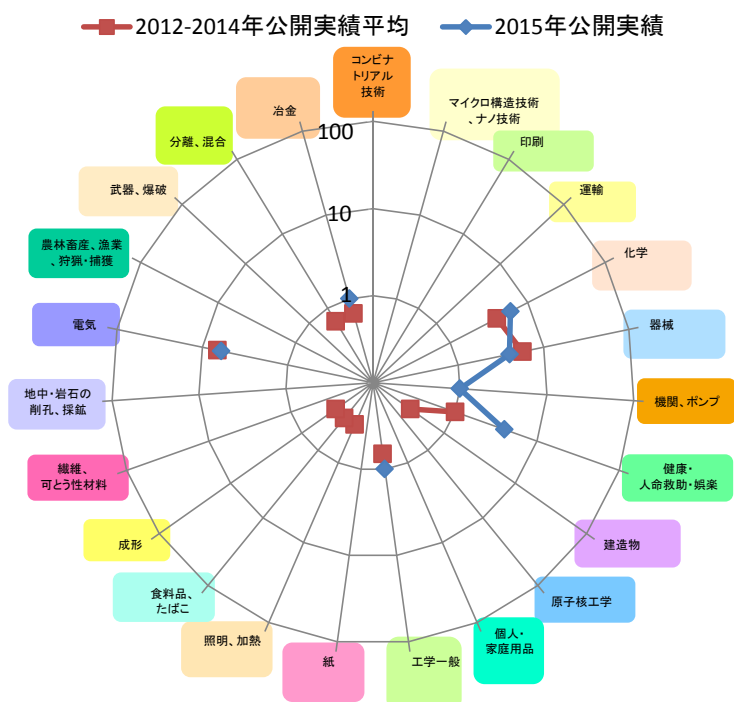
特許出願件数	33
特許保有件数	152

特許権実施等件数	7
特許権実施等収入	11

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	H01	基本的電気素子	6
2	A61	医学・獣医学; 衛生学	4
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	3
4	C08	有機高分子化合物等	2
4	G04	時計	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



私立 東海大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	10名以上20名未満
研究者数	1,908 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	126	134	位 / 国公立	
	受入額	231,429	210,308	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	101	102	位 / 国公立	
	受入額	207,217	187,507	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	69	67	位 / 国公立	
	受入額	161,893	161,297	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	32	35	位 / 国公立	
	受入額	45,324	26,210	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	3	2	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	244	217	
	受入額	771,375	690,205	
民間企業のみ	件数	112	88	
	受入額	154,957	90,145	
大企業のみ	件数	70	51	
	受入額	110,912	51,920	
中小企業のみ	件数	42	37	
	受入額	44,045	38,225	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	- (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

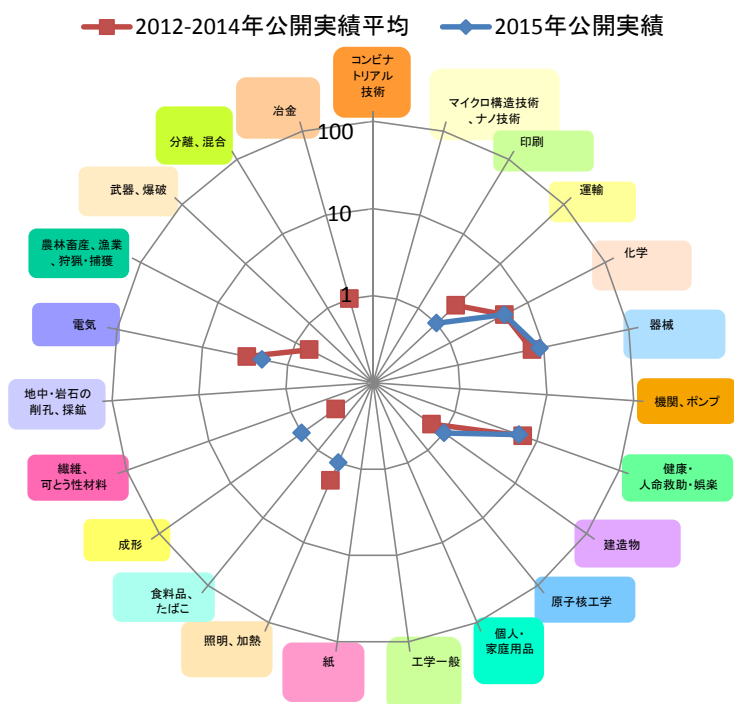
特許出願件数	29
特許保有件数	178

特許権実施等件数	25
特許権実施等収入	2,322

出願数上位技術分野(2015年公開)

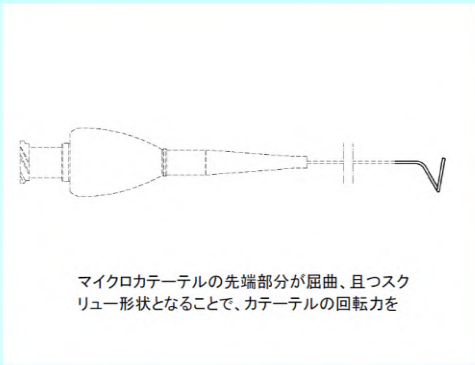
順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	7
2	A61	医学・獣医学; 衛生学	6
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2
3	G02	光学	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成27年度

医療用カテーテルの開発					
本件連絡先					
機関名	東海大学	部署名	産官学連携推進課	TEL	0463-59-4364
				E-mail	sangi01@tsc.u-tokai.ac.jp
概要			図・写真・データ		
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>現在、低侵襲医療の広がりから、カテーテルの需要は更に広がりを見せている。これに伴い、カテーテルを用いた治療時の患者の負担軽減が更に求められている。カテーテルの操作性のみならず、高性能化も患者の負担軽減に繋がることから、改良開発が日々進められている。</p> <p>・成果</p> <p>企業と大学の間でNDA(産業財産権出願可能性の検討ないし評価)を締結し、企業製品の改良アイデアを研究者から提案、企業が試作し、製品化に至った。これにより、従来のマイクロカテーテルにはない、回転力を推進力とする新たなカテーテルが実現した。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>企業と研究者の間で、アイデア提案(研究者)と試作品作製(企業)、評価を分担し、その結果を密に共有することで、製品実用化に至った。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>研究者と企業のかねてからの交流が発端となり、今回の開発がスタートした。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>産業財産権登録要否の検討のため、NDAの締結を求められ、対応した。</p>			 <p>マイクロカテーテルの先端部分が屈曲、且つスクリュー形状となることで、カテーテルの回転力を</p>		
概要			図・写真・データ		
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>マイクロカテーテル先端に屈曲部をもち、且つそれが円錐形状(スクリュー形状)を描いていることから、従来の屈曲ありカテーテルでは実現し得なかった、カテーテル自体の回転力を推進力とする事が可能になった。</p>			<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p>		


平成26年度

「タマネギ含硫アミノ酸配合サプリメント「T-アライン」」

(東海大学)

東海大学が日清製粉グループの日清ファルマ株式会社に、保有する特許技術の技術紹介と実施許諾を行い共同研究を経て、希少なタマネギアライン※を配合した栄養補助食品「T-アライン」が誕生しました。

※タマネギアラインとはイソアライン、シクロアライン、メチンの総称です。



東海大学 研究成果 製法特許 × 日清ファルマ 精製技術 成分安定化 製剤化

特許 特許0006-C00844 特許第4172483号 「アミノステロイド増進剤 およびネキ糖 植物抽出物の製造方法」

タマネギアラインの濃縮度化

生タマネギ	約47倍に濃縮
タマネギ抽出液	
抽出液	

含硫アミノ酸(アライン類) 30mg配合

日清製粉グループWEBサイトにて販売中


T-アライン 検索

「iPS細胞研究ならびに再生医療の発展に向けた 移植寛容型カニクイザル」

(東海大学)

東海大学にて研究を実施している遺伝子解析方法を、株式会社イナリサーチが活用し、主要組織適合性遺伝子複合体(MHC)を統御したカニクイザルの事業を展開しています。

今後、非臨床段階での移植研究や再生医療研究を行う上で重要とされています。



MHCタイピング法の開発・検証・スクリーニング

東海大学 × 共同研究 × イナリサーチ × 製薬企業等

アノテミア 研究機関

MHC統御型iPS・生体試料・遺伝子情報の供給

MHCタイピング結果の活用

- ・研究用個体の選抜・供給
- ・供給体制の整備

・移植研究

・疾患研究

・バイオ医薬品開発

・臨床症研究

・がん研究

・再生医学研究

私立 中部大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	20名以上30名未満
研究者数	536 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	58	79	位 / 国公立	
	受入額	89,927	132,078	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	45	58	位 / 国公立	
	受入額	62,523	78,039	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	34	42	位 / 国公立	
	受入額	45,080	63,527	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	11	16	位 / 国公立	
	受入額	17,443	14,512	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	2	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	73	89	
	受入額	478,840	348,783	
民間企業のみ	件数	43	51	
	受入額	59,693	92,945	
大企業のみ	件数	29	37	
	受入額	41,753	84,146	
中小企業のみ	件数	14	14	
	受入額	17,940	8,799	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1	1 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

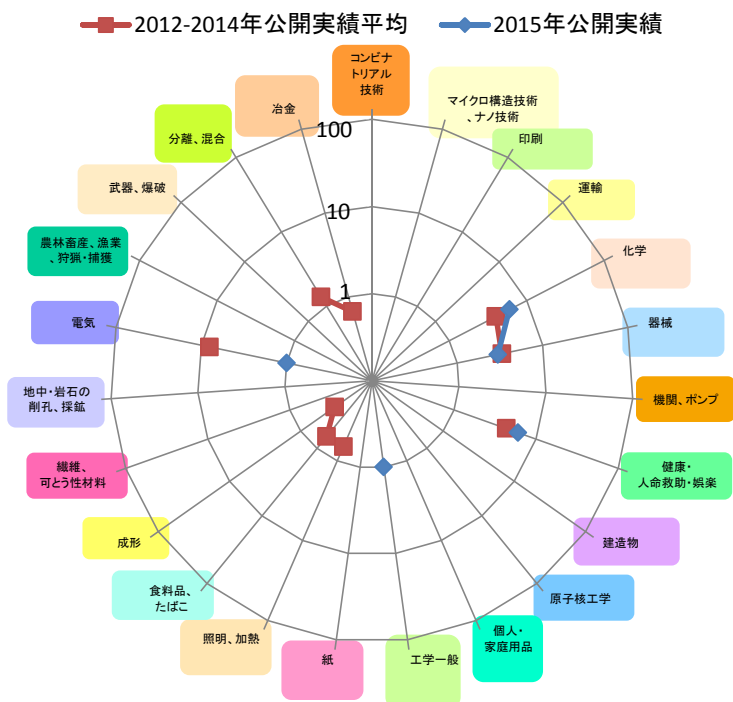
特許出願件数	27
特許保有件数	87

特許権実施等件数	5
特許権実施等収入	150

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	6
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	3
3	G06	計算、計数	2
3	C01	無機化学	2
5	H01	基本的電気素子	1
5	C07	有機化学	1
5	F16	機械要素・部位、機械・装置の効果を維持するための一般的手段	1
5	G08	信号	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



私立 芝浦工業大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	327 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数	150	175
	受入額	131,793	157,588
民間企業のみ	件数	145	169
	受入額	127,597	152,378
大企業のみ	件数	76	103
	受入額	76,788	110,272
中小企業のみ	件数	69	66
	受入額	50,809	42,106
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-

位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
24位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数	96	102
	受入額	362,358	519,877
民間企業のみ	件数	54	51
	受入額	75,769	100,453
大企業のみ	件数	18	22
	受入額	45,127	67,308
中小企業のみ	件数	36	29
	受入額	30,642	33,145
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1

(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

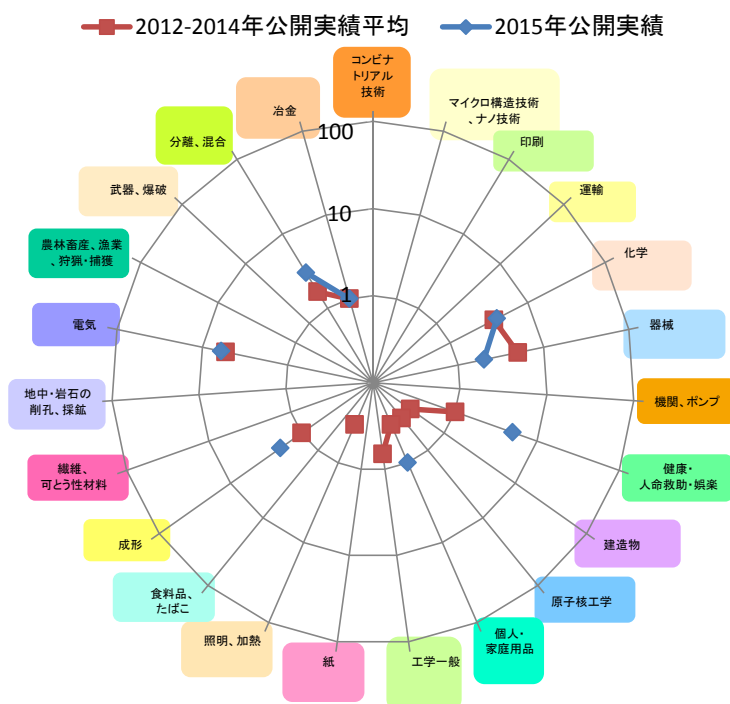
特許出願件数	25
特許保有件数	84

特許権実施等件数	4
特許権実施等収入	1,750

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学;衛生学	4
2	B01	物理的・化学的方法または装置一般	3
2	H05	他に分類されない電気技術	3
4	H02	電力の発電、変換、配電	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成27年度

さいたま(埼玉県、さいたま市)との連携協定							
本件連絡先							
機関名	芝浦工業大学	部署名	研究推進室 研究企画課	TEL	03-5859-7180	E-mail	CHIZAI.KENYAKU@ow.shibaura-it.ac.jp
概要			体制図等				
<p>1. 背景と目的</p> <p>芝浦工業大学では、平成25年度に地(知)の拠点整備事業に採択され、地域連携による人材育成を進めている。</p> <p>近年、埼玉県、さいたま市との連携が増加している。埼玉県並びにさいたま市における本学の存在感・貢献度を広く世間に周知するとともに、地域に密接な協力と連携を深めることを目的に、2015年4月6日に、さいたま市と「イノベーション協定」を締結し、続いて埼玉県と「包括的連携協定」を締結した。</p> <p>2. 協力・連携事項</p> <p>① 産学官連携による研究・開発促進と地域産業の振興に関すること</p> <p>② 企業若手と学生の人材育成と活用に関すること</p> <p>③ まちづくり・ものづくりの融合による地域経済の活性化に関すること</p> <p>④ 知的財産の有効活用による先端産業の創造に関すること</p> <p>⑤ 地域資源を活用した観光振興・環境改善・災害対策・農業支援に関すること</p> <p>⑥ 国際交流の推進によるグローバル化に関すること</p> <p>⑦ 教育、福祉、文化、芸術、スポーツの振興に関すること</p> <p>⑧ その他、目的を達成するために必要な事項</p> <p>3. 協定締結と締結後の活動状況 ※【 】内は自治体の担当部門</p> <p>協定締結後における主な連携活動は以下の通り。</p> <p>① 提示された地域の課題に対して学生が解決策を提案する講義の実施【計画調整課(秩父地域振興センター)】、【エコタウン環境課】</p> <p>② 本学教員が埼玉県の新エネルギー部会の部員に就任【先端産業課】</p> <p>③ 埼玉県主催の各種イベントにおいて本学先端研究シーズ紹介予定【先端産業課】</p> <p>④ 埼玉県が海外協定校や企業を交えた課題解決型授業に参画することで調整をすすめている【国際課】</p>			 <p>協定を取り交わす村上学長(左)と上田知事(右)</p>				

平成26年度

「開けやすいガラス瓶」

(芝浦工業大学)

ガラス瓶は、一般的に保存容器に用いられる事が多く、その断面形状は円形のものが多いが、一般的な断面形状が円形のガラス瓶は、滑りやすい握りづらいことからふたを開ける際に円形断面の瓶を握ってふたを開ける行為は体力的に衰えている高齢者には大変であるという状況がある。そこで学校法人芝浦工業大学と、柏洋硝子は共同で研究し『ガラス瓶中央の断面形状が平行四辺形になっているガラス瓶』を創作した。




従来のガラス瓶の断面形状

開発したガラス瓶の断面形状

私立 順天堂大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	3,592 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度		
全体	件数	26	32	位 / 国公立	
	受入額	124,645	108,025	位 / 国公立	
民間企業のみ	件数	23	28	位 / 国公立	
	受入額	119,745	102,442	位 / 国公立	
大企業のみ	件数	20	20	位 / 国公立	
	受入額	115,165	71,184	位 / 国公立	
中小企業のみ	件数	3	8	位 / 国公立	
	受入額	4,580	31,258	位 / 国公立	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	2	4	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	128	181	
	受入額	462,562	972,793	
民間企業のみ	件数	75	83	
	受入額	61,799	136,651	
大企業のみ	件数	68	72	
	受入額	58,260	125,620	
中小企業のみ	件数	7	11	
	受入額	3,539	11,031	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1	2 (金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

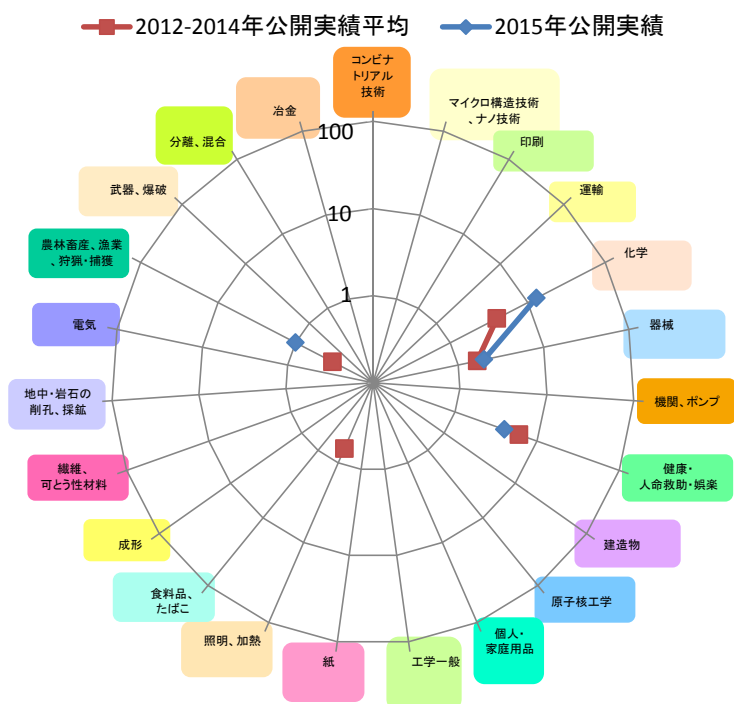
特許出願件数	23
特許保有件数	67

特許権実施等件数	7
特許権実施等収入	2,964

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	12
2	A61	医学・獣医学; 衛生学	4
3	G01	測定、試験	1
3	C07	有機化学	1
3	G08	計算、計数	1
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成27年度

花王との包括連携協定に基づく取り組み						
本件連絡先						
機関名	順天堂大学	部署名	研究推進センター	TEL	03-3813-3176	E-mail sangakukan@juntendo.ac.jp
概要				体制図等		
<p>花王株式会社と順天堂大学は、お互いの連携・協力関係を推進するため、2015年6月2日に包括連携協定を結びました。</p> <p>本協定は「健康を科学する」という両者の共通テーマのもと、互いの研究知見や施設を活用した産学連携により、オープンイノベーションを推進し、医療・健康分野における基盤研究の連携を強めることを目的としています。具体的には、「清潔」「健康」「高齢化」などの分野での共同研究開発に取り組もうとしています。</p> <p>連携体制としては「連携推進委員会」と「連携協議会」を設置し、情報交換を密に行い、共同研究課題の選定や研究進捗の管理を行っています。</p> <p>平成27年度においては、本協定に基づいて花王-順天堂間で秘密保持契約を締結し、研究課題の検討を進めました。また花王の保有する技術について学内で技術説明会を開催し、さらなる共同研究機会の創出を図りました。</p> <p>今後も本協定に基づき、研究者の人材交流、研究施設の相互利用を通じた研究拠点の構築を進めていきます。</p>				<p>連携体制図</p>		

平成27年度

真珠由来成分の化粧品への利用						
本件連絡先						
機関名	順天堂大学	部署名	研究推進センター	TEL	03-3813-3176	E-mail sangakukan@juntendo.ac.jp
概要				図・写真・データ		
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>現代女性は仕事や家事に忙しく、体に疲れがたまるように肌にも疲れがたまってしまいます。この課題を解決することを製品開発の目的としました。</p>						
<p>成果</p> <p>御木本製薬株式会社と順天堂大学の共同研究成果(特許登録済)を利用して、ミキモトコスメティクスよりシート状の美容液含浸化粧品「エッセンスマスク」が販売されました。</p>						
<p>実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>御木本製薬株式会社の研究理念、コアコンピタンスとして取り組む真珠研究と順天堂大学の皮膚科学が上手にマッチしたため。</p>						
<p>研究開発のきっかけ</p> <p>知的財産管理を担当する特任教員の広い人的ネットワークの活用がきっかけとなりました。</p>						
<p>民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>契約などに関して、事案に応じた柔軟な対応を求められました。</p>						
概要				図・写真・データ		
<p>技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>真珠層由来のミネラルが皮膚の角化促進、皮膚の老化防止、皮膚のトラブル改善に有用であることを見出しました。</p>				<p>ファンディング、表彰等 参考URL</p>		

私立 神奈川大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	547 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	28	23	位 / 国公立
	受入額	28,214	42,629	位 / 国公立
民間企業のみ	件数	18	21	位 / 国公立
	受入額	28,214	32,406	位 / 国公立
大企業のみ	件数	15	19	位 / 国公立
	受入額	27,964	32,006	位 / 国公立
中小企業のみ	件数	3	2	位 / 国公立
	受入額	250	400	位 / 国公立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	27	22	
	受入額	81,812	65,338	
民間企業のみ	件数	10	11	
	受入額	6,928	10,750	
大企業のみ	件数	5	9	
	受入額	6,620	9,370	
中小企業のみ	件数	5	2	
	受入額	308	1,380	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

特許出願件数	23
特許保有件数	245

特許権実施等件数	4
特許権実施等収入	1,945

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	7
2	C07	有機化学	4
3	G06	計算、計数	1
3	C08	有機高分子化合物等	1
3	H02	電力の発電、変換、配電	1
3	E04	建築物	1
3	C02	水、廃水、下水・汚泥の処理	1
3	B61	鉄道	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)

